

芸術学部

- パフォーミング・アーツ学科
- メディア・デザイン学科
- 芸術教育学科

人材養成等教育研究に係る目的

芸術学部は、本学創立の理念である全人教育のもと、全人的な陶冶を基本理念として、総合大学における芸術学部の特徴を活かした芸術教育を目指している。芸術創造、芸術応用、芸術企画・経営、芸術研究の各領域を学びの指針として、学部段階教育を踏まえた芸術教養を基に体系的な専門知識と技能、及び実践力の修得を図る。また理論的・実践的側面を統合的に学習することを通して、多様な芸術表現の可能性と芸術活動の支援的側面を探求し、我が国の文化芸術の特徴を活かした芸術による社会貢献を推進し得る人材の育成、及び玉川大学の教員養成の実績を背景に、創造性豊かな実践的指導力を備えた、中・高教員（音楽・美術・工芸）の養成を目的とする。

パフォーミング・アーツ学科は、パフォーミング・アーツの体系的理解に基づき現代社会における上演芸術や身体表現の役割を学修し、コミュニケーション能力と総合的実践力の育成を通して社会に貢献できる人材を育成する。

メディア・デザイン学科は、メディアアートとデザインの分野における幅広い知識とデジタル技術の修得を活かし、知識基盤社会、高度情報通信ネットワーク社会における日本の文化産業の発展に貢献できる職業人を養成する。

芸術教育学科は、芸術と教育に関する基礎的な知識と技能を体系的に修得し、人間理解を基礎に「芸術による教育」を学校教育や社会教育等の現場において、指導的な立場から先導的に推進できる人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー

パフォーマンス・アーツ学科

- ① 芸術に関する基礎的な知識を幅広く修得するとともに、得意とする芸術分野の専門的な知識を体系的に理解し、体系の意味と自己の存在を歴史、社会、自然と関連付けて理解できる。
- ② 芸術に関する知識や技能を総合的に活用し、現代の諸問題の解決に主体的に取り組み、社会に貢献する心意気を持っている。
- ③ 異文化、多文化の存在を認めつつ、異なった価値観をもつ人々と協働する際に必要な知識と技能、および豊かな表現力を身につけている。
- ④ 社会人としての使命感や責任感を身につけて、自ら積極的に行動できるとともに、社会の規範やルールに従って適切な行動ができる。

メディア・デザイン学科

- ① 芸術に関する基礎的な知識を幅広く修得するとともに、得意とする芸術分野の専門的な知識を体系的に理解し、体系の意味と自己の存在を歴史、社会、自然と関連付けて理解できる。
- ② 芸術に関する知識や技能を総合的に活用し、現代の諸問題の解決に主体的に取り組み、社会に貢献する心意気を持っている。
- ③ 異文化、多文化の存在を認めつつ、異なった価値観をもつ人々と協働する際に必要な知識と技能、および豊かな表現力を身につけている。
- ④ 社会人としての使命感や責任感を身につけて、自ら積極的に行動できるとともに、社会の規範やルールに従って適切な行動ができる。

芸術教育学科

- ① 教育と芸術に関する基礎的な知識を幅広く修得するとともに、得意とする芸術分野の専門的な知識を体系的に理解し、体系の意味と自己の存在を歴史、社会、自然と関連付けて理解できる。
- ② 教育と芸術に関する知識や技能を総合的に活用し、現代の諸問題の解決に主体的に取り組み、社会に貢献する心意気を持っている。
- ③ 異文化、多文化の存在を認めつつ、異なった価値観をもつ人々と協働する際に必要な知識と技能、および豊かな表現力を身につけている。
- ④ 社会人としての使命感や責任感を身につけて、自ら積極的に行動できるとともに、社会の規範やルールに従って適切な行動ができる。
- ⑤ 芸術による教育を実践的に推進し先導できる資質能力を身につけ、「進みつつある教師のみ教える権利あり」の実践者となる。